

奈良モデルの取り組み

香芝市



香芝市の概要



- 人口:約78,459人
(H27.10末現在)
- 面積:24.26km²
- 体制:納税促進課
徴収係5名
滞納対策係6名
奈良モデル
特別滞納整理強化チーム6名
〔高田班 3名・香芝班 3名〕
(県へ研修 6ヶ月1名)

課題

1. 徴収困難案件の増加
 - ・市税の大口滞納案件
 - ・納税義務者の死亡による相続案件
2. 徴税吏員のスキル不足
 - ・ベテラン職員の異動による一時的な知識不足
 - ・債権や不動産以外の滞納処分の知識不足

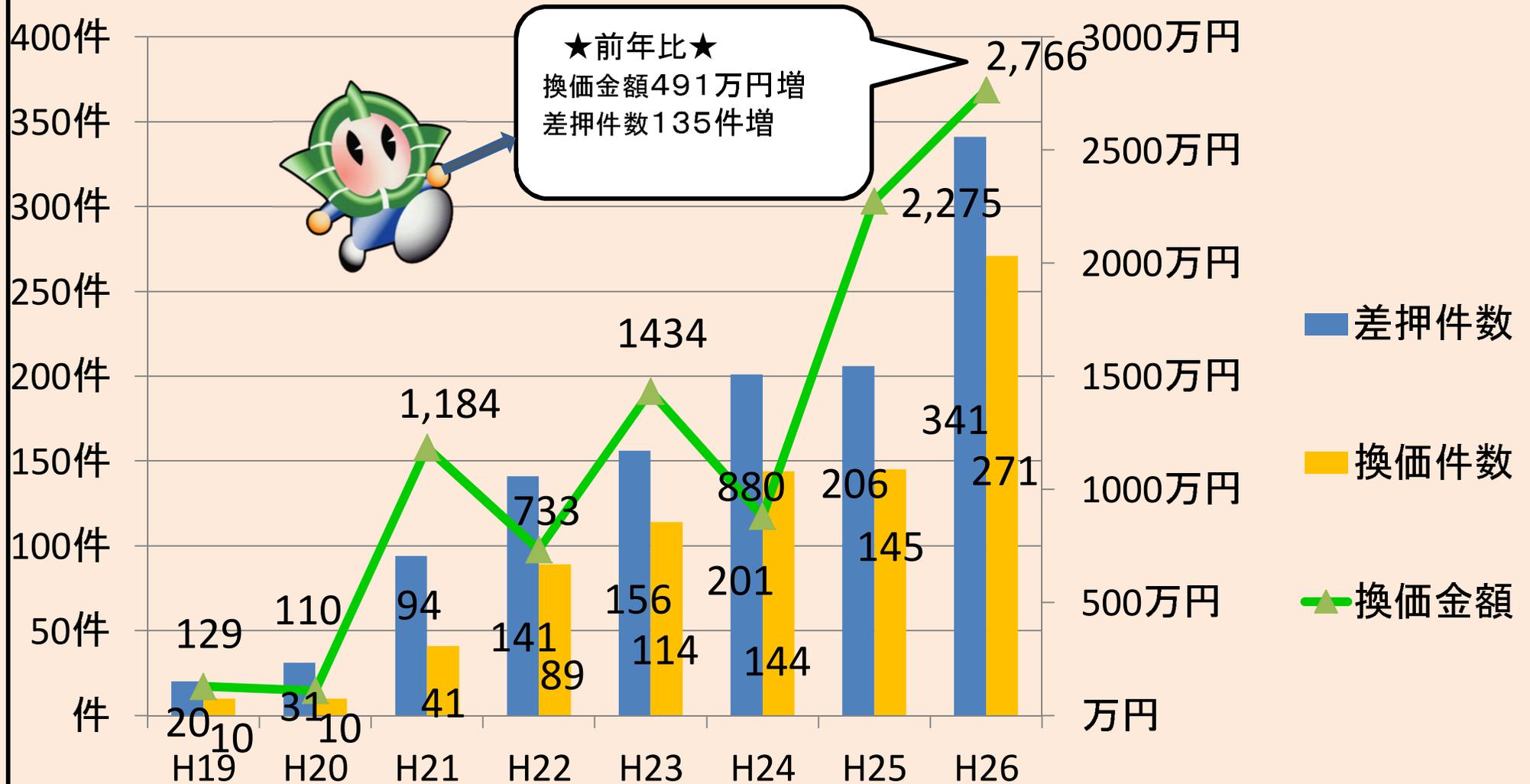
奈良モデルの取組

奈良県、大和高田市、香芝市による「特別滞納整理強化チーム」の編成

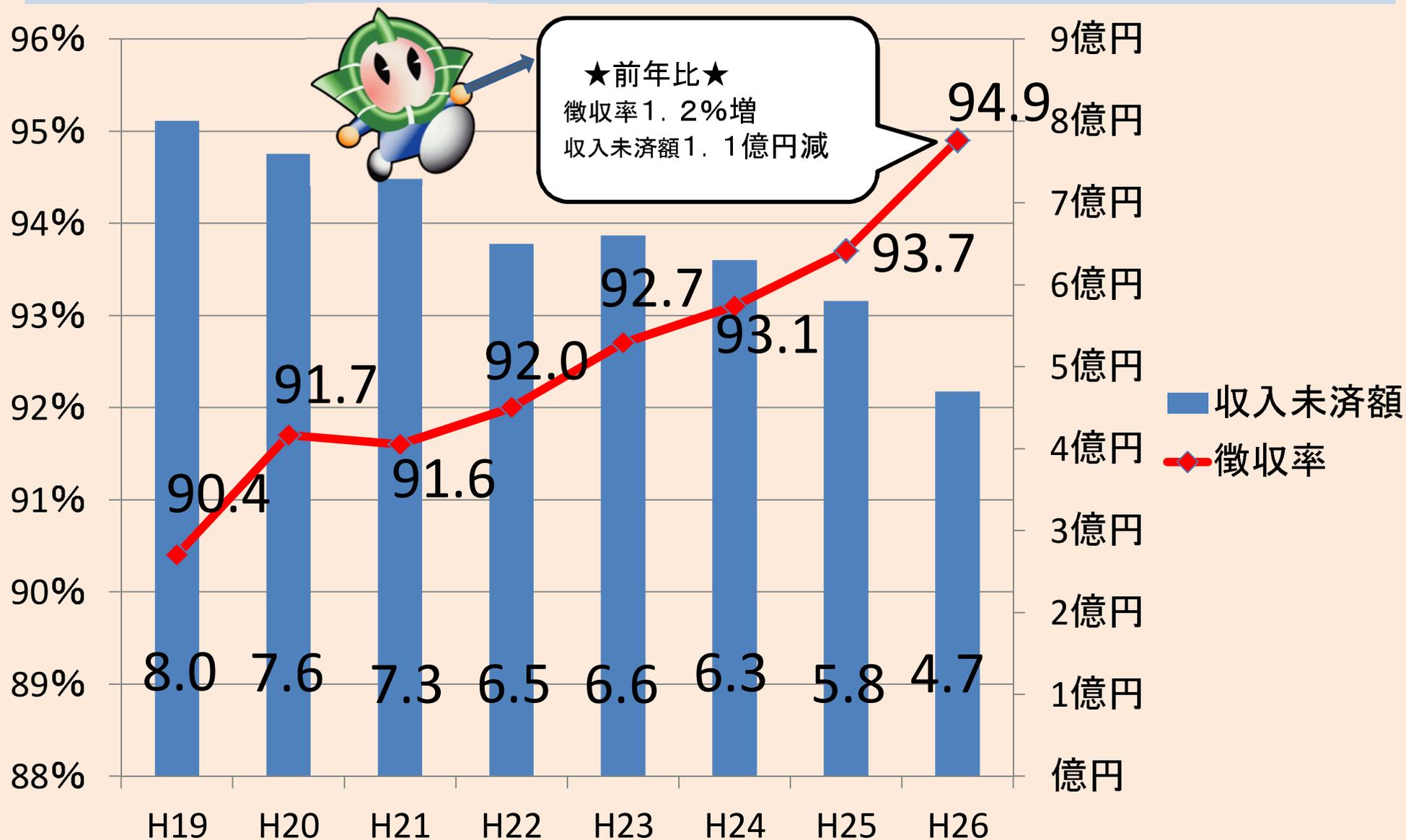


1. 市税の大口案件を中心に納税交渉・滞納処分を実施
2. 従来の滞納整理手法以外の新たな手法の開拓
 - ・ 搜索
 - ・ 不動産合同公売
 - ・ インターネット公売

差押・換価の推移



収入未済額と徴収率の推移



奈良モデルの効果

奈良県の垂直補完により

- ・県や市という枠組みを超えた職員同士が、情報・ノウハウ等を共有することにより効率的に人材の育成・活用することができる。
- ・徴収率の向上によりチームのみならず職員全員のモチベーションアップ。



ご清聴ありがとうございました

